

dare を使った慣用表現

- **How dare ...?** (よくも…できるね)

How dare you call me an idiot? よくも私を間抜けだなんて言えるね。

You've insulted me! **How dare you!** 私のことを侮辱したな。よくもそんなことを。

How dare you question my orders?

私の言うことに口答えするとは、どういうつもりだ。

How dare you talk to me like that!

よくも私にそんな口の利き方ができたものだな。

- **I dare say [daresay] ...** (おそらく…だろう) [(主に英語) で用いる]

I dare say there was nothing we could do.

私たちにできることなど何もなかっただろう。



2 should の間違いやすい用法

35 We insisted that he (**should**) go alone.

134

我々は彼が1人で行くべきだと要求した。

36 It is necessary that we (**should**) avoid common passwords.

135

ありふれたパスワードは避けることが必要だ。

37 It is natural that she **should** get angry. 彼女が怒るのも当然だ。

136

《1》「提案」「要求」「命令」を表す動詞の後 (35) 仮定法 pp.348-350 を参照。

1) should は「提案」「要求」「命令」を表す動詞の that 節中で使われることがある。

2) (※) では should をつけず通例、動詞の原形 (pp.348-350 仮定法現在)。

(英) でも should をつけない用法が一般的になってきている。

3) that 節の内容は「(その時点で) まだなされていないこと」。

類例 Our teacher **requested** that we (**should**) read ten books during the summer vacation.

先生は私たちに夏休みの間に本を10冊読むよう要求した。

The parents **demanded** that their son (**should**) stay at home.

両親は息子に家から出るなど要求した。

(a) I **suggested** to Yoko that she (**should**) buy a new tablet.

私は洋子に新しいタブレットを買うよう提案した。

(a') Recent research **suggests** that there is little risk.

最近の研究はほとんど危険性がないということを示している。

〔→最近の研究によればほとんど危険性はないということだ。〕

(b) My wife **insisted** to me that I (**should**) not give in.

妻は私に屈することのないよう要求した。

(b') She **insisted** that she was right. 彼女は自分が正しいと主張した。

(a) と (b) では, that 節内が 〈(should) + 動詞の原形〉 で, 使われている動詞は動作動詞。

(a') と (b') では, that 節内が (a) や (b) のような形を取らず, 普通使われる動詞は〈状態動詞〉 または 〈動作動詞の進行形〉。動作動詞の進行形の用例は次の通り。

The survey results **suggest** that Japan's economy is recovering.

調査結果は景気が回復しつつあることを示している。



【!】 〔ややくだけて〕 では, that 節内で直説法や must や have to などの助動詞に類する表現が使われることもある。特に〔英〕で見られるが, 比較的〔まれ〕。

The police **demanded** that I **had to** show him my driving licence.

警察は, 私に運転免許証を見せろと要求した。

《2》「必要」「重要」を表す形容詞の後 (36)

1) should は, 〈**It is necessary [important] that S should ...**〉 などの構文において, 必要性や重要性などの判断の内容を表す that 節で使われることがある。

2) 《1》「提案」「要求」「命令」を表す動詞の場合と同様, 〔米〕では should をつけず, 動詞の原形が用いられることが多い。

3) that 節の内容は 「(その時点で) まだなされていないこと」。

類例 **It is important that we (should) avoid** texting while walking.

歩きながらのメールはしないことが重要だ。

【!】 〔ややくだけて〕 では, that 節内で直説法や must や have to などの助動詞に類する表現が使われることもある。特に〔英〕で見られるが, 比較的〔まれ〕。

It is important that we don't become too pessimistic.

あまり悲観的にならないことが重要だ。



注意しよう! 「感情・主觀」で **should** の省略は不可!

「感情・主觀」を表す形容詞の後の that 節内では、should を取り去って動詞の原形が来ることはない。

× It is strange that he lose the game so easily.

「彼がすでに試合に負けた」という事実があるため、that 節内で動詞の原形を使うことはできない。動詞の原形を使うと「まだそうなっていないこと」になるから。

練習問題 11：日本語に合うように単語を並び替えなさい

→解答 p.143

① 女性だけが家事をすることは間違っている。

It is (the housework / do / that / only / should / women / wrong).

② 妻は私が毎日洗濯するよう強く言い張った。

My wife insisted (laundry / the / I / should / that / do) every day.

③ ゴミを分別すること（種類によってゴミを分けること）は大事だ。

It is necessary (garbage / separate / that / should / we) according to type.

• lest S should ... (S が…するといけないので) 『かたい書』で発信用としては使わない方が無難。

We'll take a copy **lest** we **should** damage the original photo.

オリジナルの写真を棄損してはいけないので、複製を作つておきます。

〔(米)では普通 should をつけないで、動詞の原形にする。最近は(英)でも同様〕

《1》**would rather** ~ (than ...) : 「(…するより) むしろ～したい」 (41)

後に使われる動詞は普通, 動作動詞。

類例 I'd rather eat at home **than** eat out. 外食するくらいなら家で食事がしたい。

I would rather chat at the fast-food restaurant **than** study math at the library.

図書館で数学の勉強をするよりむしろファストフードのお店でおしゃべりしてみたい。

《2》**would rather** (that) 節 : 「むしろ…だといいのに」

1) that は通例省略される。

2) (that) 節内は仮定法過去 (p.341) または仮定法過去完了 (p.343)。

3) 昔, would が動詞として使われていた頃の表現がそのまま残ったもの。

類例 "Would it be okay if I smoked here?" "Well, I'd rather you didn't."

〔←控え目な拒絶表現。この応答文では後に smoke here が省略されている〕

「ここでタバコを吸ってもよろしいですか」「吸わないでいただけたらと思います」

I would rather you didn't speak loudly in the classroom.

教室でやかましくしゃべって欲しくないのですが。

I would rather you went home. 君は家に帰った方がいい。

I would rather you hadn't hung around with these guys.

私はあなたにあの連中とつるんで欲しくはなかったのですが。

《3》**would like to** +動詞の原形 : 「…したいと思う」 (丁寧表現)

I would like to invite you to our house.

あなたを我が家にご招待したいと思います。

《4》**would like** ~ to +動詞の原形 : 「～に…してほしいと思う」 (丁寧表現)

I would like you to meet my friend Akari.

紹介しましょう、私の友だちのあかりです。

《5》**would sooner** ~ (than ...) : 「(…するより) むしろ～したい」

I would sooner leave the town **than** live there in disgrace.

不名誉にまみれながらもそこに留まるくらいなら、町を離れた方がよい。